

「とうきょう認知症希望大使」任命候補者

さとうみき

武蔵野市在住、47歳

大学病院等で秘書として勤務してきた。43歳の時にアルツハイマー型認知症の診断を受けた後、デイサービスのスタッフ、各地でピアサポートや講演を行うほか、空港のユニバーサルデザイン等にも参画。出版を機に、子どもたちとの語り、学生への講義にも力を入れる。

岩田 裕之 (いわた ひろゆき)

板橋区在住、57歳

印刷会社の制作部でデザインの制作や取材に携わってきた。現在は、板橋区のチームオレンジ(※1)で食事作りの活動をするとともに、板橋区及び千代田区の認知症本人ミーティング(※2)にファシリテーターとして参加し、チラシ作成も担当する。

遠藤 浩市 (えんどう こういち)

清瀬市在住、70歳

映像機器の設計施工をした後、電気主任技術者として設備管理を担ってきた。68歳の時にアルツハイマー型認知症と診断された後、清瀬市のチームオレンジ(※1)に参加し、交流拠点において電気関係の修理をしたり、オカリナ教室を開いたりと活動を続けている。

能任 智子 (の と ともこ)

昭島市在住、70歳

自治体職員として、約30年間保育園の給食調理業務に関わってきた。66歳の時に認知症と診断され、少しずつ症状が進んできているが、近隣の友人と変わらず交流を楽しみ、また、経験を活かして毎週認知症の当事者と一緒にランチ会の食事作りを続けている。

岩田 美枝 (いわた よしえ)

品川区在住、84歳

30年以上にわたって書道塾を経営し、子どもから大人まで指導してきた。グループホームで生活している現在に至るまで、地域の子どもたちを対象に書道教室を開くなど、書道の魅力を発信している。

長田 米作 (おさだ よねさく)

練馬区在住、90歳

紳士服を縫製する職人として、個人商店を営んできた。現在は、練馬区の認知症本人ミーティング(※2)に参加し、参加者からの相談に乗るなど、交流を楽しんでいる。

- ※1 認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター（基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した方）を中心とした支援者をつなぐ仕組み。
- ※2 認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場のこと。